

組付要領書及び部品表

Takakita

キッカーアタッチ

VC1621W-K

適応機種 VC1621W



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**キッカーアタッチ**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前には作業機本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡しく下さい。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

キッカーアタッチの組付け 1

作業方法 2

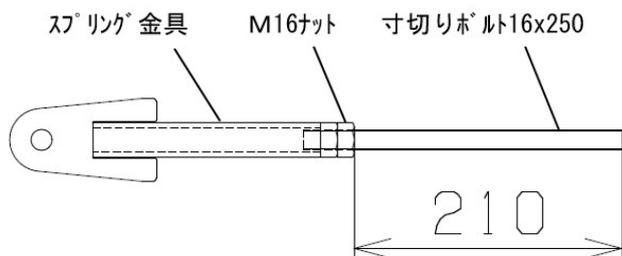
キッカーアタッチの組付け手順

組付け前には、必ずこの取扱説明書をお読みの上、正しく組付けてください。

●開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかご確認の上、組付けを行ってください。

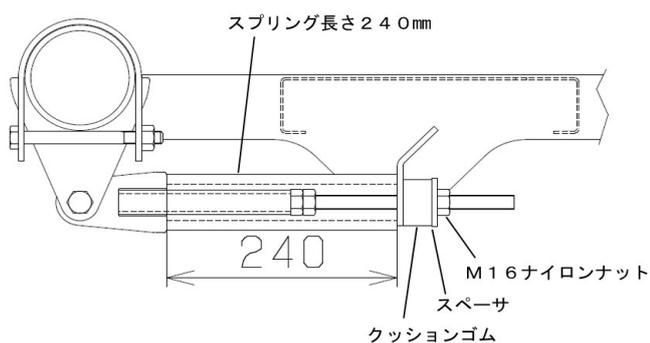
◆組付け手順

①下図の寸法となるようにスプリング金具にM16 ナットと寸切りボルトを組付け、M16 ナットを締め付けてください。
(締付トルク110N・m)

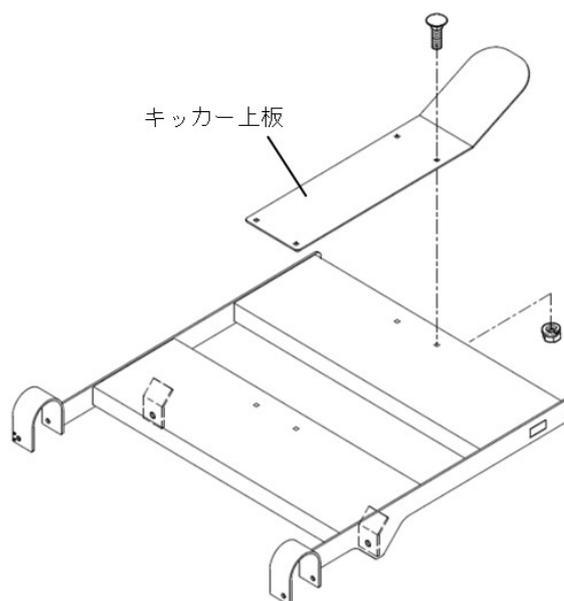


②車軸にキッカーを取付けて

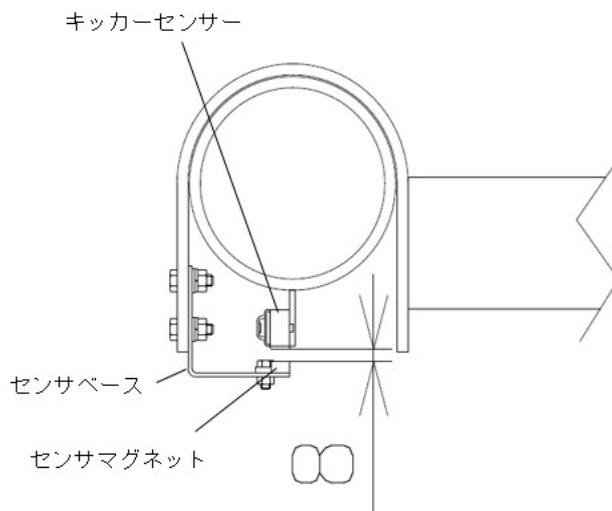
下図のようにスプリングの寸法が240mm になるようにM16ナイロンナットで調整してください。



③キッカー上板を取り付けてください。



④下図のようにセンサマグネットを組付け
センサとマグネットの距離が約 8mm になるよう
センサベースの長穴で調整して下さい

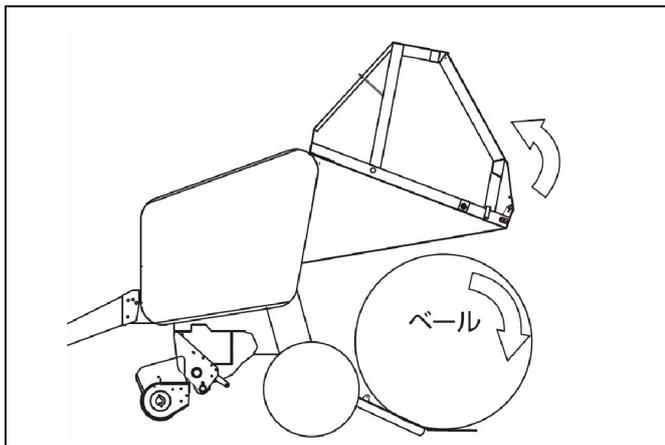


⑤コントロールボックスの設定モードで、キッカーセンサを ON:1 へ変更してください。
(本体取扱説明書P.32を参照してください)

作業方法

◆ベールを放出する(キッカー取り付け時)

ネット・トワインの結束が終わったら、トラクタの油圧レバーを操作してリヤチャンバを最大まで開け、ベールを放出します。ベールはキッカーの傾斜にて後方へ転がります。



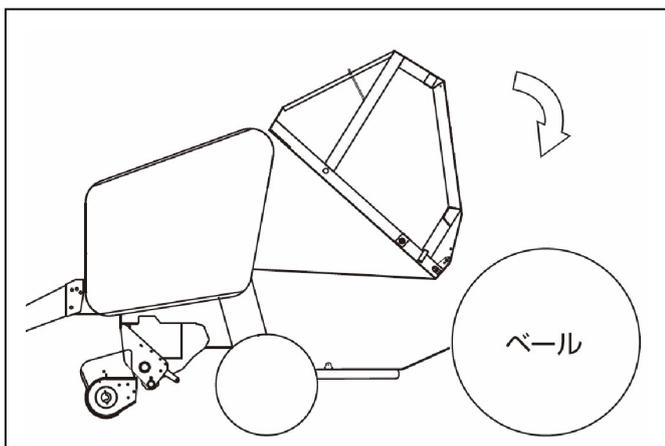
注意

3° 以上の前下がり傾斜では、ベールがうまく後方へ転がらないことがあります。また、ほ場の条件によっては3° 以下でもベールが転がらない場合があります。うまく転がらない場合は、キッカーを取り外して作業を行ってください。

◆リヤチャンバを閉じる

ベール放出後、リヤチャンバを閉じるときは、コントロールボックスの「キッカーが降りています」表示が消えていることを確認し、油圧レバーを操作してリヤチャンバを閉じてください。

リヤチャンバが閉じて確実にロックされると、コントロールボックスの作業OKランプが点灯します。作業OKランプの点灯を確認後、次の作業に入ってください。



注意

- ・ベールを放出するときは、後方に人や動物がいないことを確認してください。
- ・傾斜地での放出は、ベールが転動しないよう、平坦な場所に放出してください。